

日本映画大学学生満足度調査結果【2025年度】

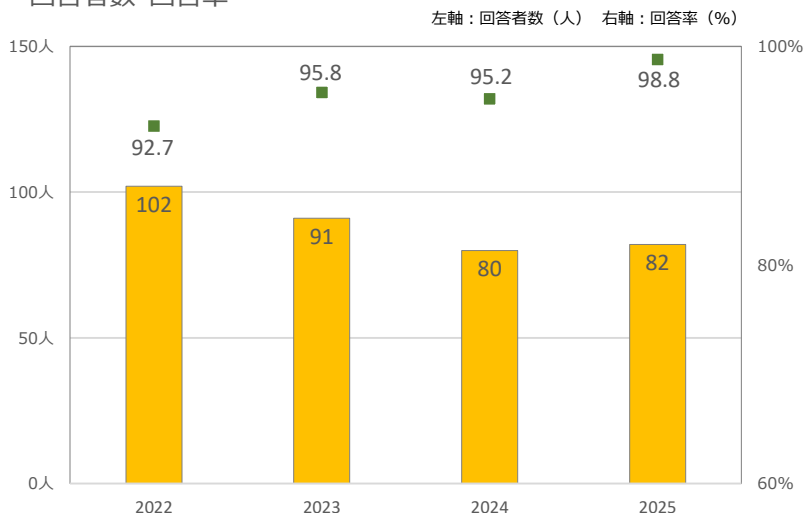
日本映画大学では、毎年3月に卒業する4年次生を対象に、4年間の学生生活を振り返った調査を実施しています。ここでは、過去3年度分の結果を掲載することで、経年での変化を確認することができるようにしています。

【調査概要】	調査実施日	2026年3月19日 (卒業式・学位記授与式当日)
	対象者	4年次卒業生
	対象者数	83名
	回答者数	82名 (回答率98.8%)
	回答方法	調査票による回答

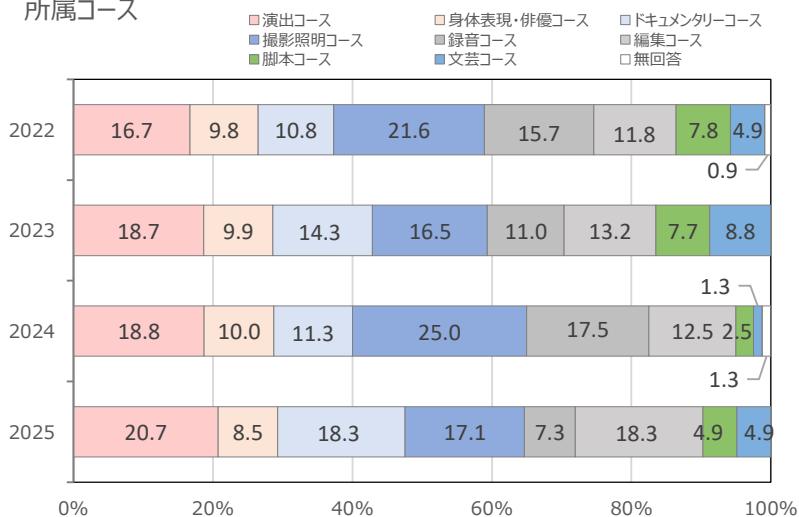
- 本調査は、毎年卒業式当日に実施しています。出席者のほぼ全員が回答しているため、高い回答率となっています。
- 「本学が第一志望だった」「入学時に将来の仕事についてのイメージが明確だった」学生がともに半数を超えていることから、将来に対して明確なイメージを持って入学していた学生が多いようです。
- 「4年間の平均的な住居」の「一人暮らし」（65.9%）の内訳は、留学生ではない学生は23.2%、留学生は42.7%となっています。留学生ではない学生は、「親と同居」が57.4%、「一人暮らし」が40.4%となっており、「親と同居」している学生が多いようです。
- 「4年間の平均的な通学時間」は、留学生ではない学生は「30～60分」が31.9%、「30分未満」が25.5%、「60～90分」は31.9%。留学生は「30～60分」が51.4%、「30分未満」が40.0%となっており、9割の留学生は大学から1時間圏内に居住しています。
- 「重要度」では、「自分が本当にやりたいことを見つけること」「授業を通して専門的な知識や技術が身につくこと」が「とても重要／重要」と回答した人が100%となっています。「入りたいコースがある」「希望のコースに入れる」ことよりも、「コースで充実した時間が過ごせる」「コースの内容が役に立つ」など、学びの内容について「とても重要／重要」と感じている人が多く、また、「自分が本当にやりたいことを見つける」ことが「とても重要」と感じている人が7割近くいることから、コースで専門的な知識や技術を修得しながら、将来どの方向に進んでいくのか、適性があるのかを見きわめているようです。
- 「満足度」では、18項目中17項目で、8割を超える人が「とても満足／満足」と回答しています。なかでも「大学でやりたい勉強ができる」「授業を通して専門的な知識や技術が身につく」「希望のコースに入れる」「大学生活を通して自分が成長できる」ことへの満足度が年々増えており、大学での学びをとおして成長を実感していることがうかがえます。「不満／とても不満」と回答した人が1割を超えた項目はキャリア関連項目に見られますが、「キャリアサポートの説明会等が充実している」の満足度も年々増えており、キャリアサポートセンターによる地道な就職支援の成果が現れています。
- 「悩み事の解決」では、「ネット上で解決した」人の割合が増えています。ChatGPT等の生成AIサービスの普及が増加の一因にありそうですが、生成AIが出力するハルシネーションは危険性が危惧されているため、生成AIに過度に依存せず、悩みを共有できる友人や相談できる相手を見つけ関係を築いていくことが肝要です。
- 「達成度」では、「将来のビジョンを明確にし、目標を立てる」「何事にも積極的に取り組む」「様々な視点から物事を見られる人間になる」ことが「かなりできた／ややできた」と回答した人は、重要度・満足度の結果とは対照的に減少しています。満足度は高いけれども達成実感が持てていないようです。
- 「総合満足度」では、「たいへん満足／満足」と回答している人が前年度より減少していますが、「たいへん満足／満足」と回答した人は8割を超え、うち「たいへん満足した」と回答した人は前年度よりむしろ増えています。さらに、満足度において「たいへん満足／満足」した人が8割を超えている項目が17項目もあり、たいへん充実した学生生活を送っていたことは自由記述でも垣間見てとれます。
- 本調査は、2022年度入学生がおもな対象となります。この年度に入学した学生たちは、新型コロナウイルスの影響の余波が残るなか、ロシアによるウクライナ侵襲や中東での紛争をはじめとする国際情勢の緊迫化と国際秩序の変化、急激な物価上昇、ChatGPTの登場による急速なデジタル変革など、これまでの常識や価値観が大きく揺らぐ時代に学生生活を送ってきました。そのような時代の中、学生たちが高い満足度をもって卒業していったことは、映画を作ることを中心に据えた本学での学びが自信につながり、手ごたえのあるものとして受けとめられたといえるでしょう。「建学の精神」の「映画は伝統芸能ではない。技術革新に対応し社会変化に連動し、時代によってその形を変えていくものだ。…それまでの常識が否定されたとき、映画表現は一気に拡大した。改革を怖れず、新しい技術を駆使し、人種国境文化の壁を軽々と越え、人間の営み、その愚かさと美しさを描いてきた」という一文にあるとおり、大きな変革の途上にある今の時代において、本学の学びで身につけた映画的思考を武器に、「未来の映画人」として活躍することを願ってやみません。

基本情報

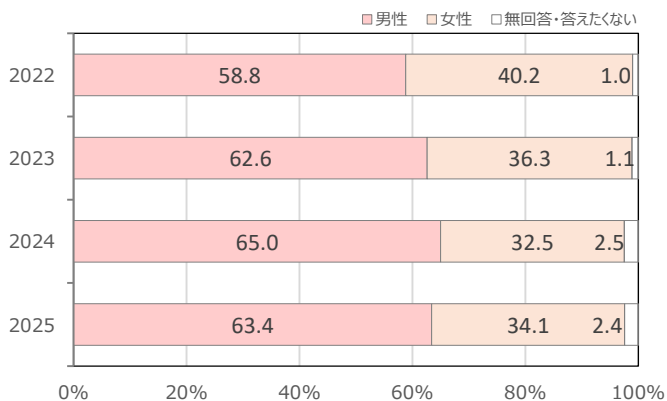
回答者数・回答率



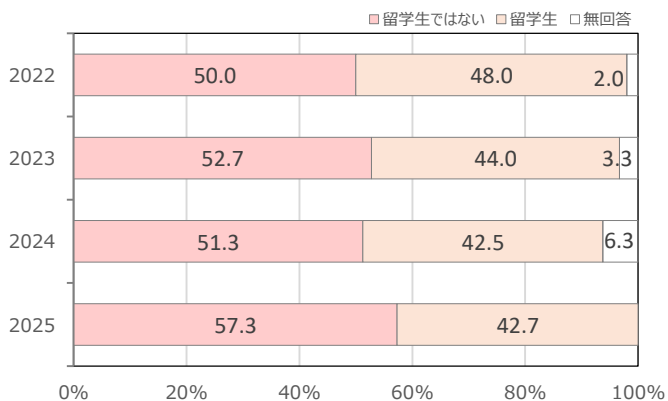
所属コース



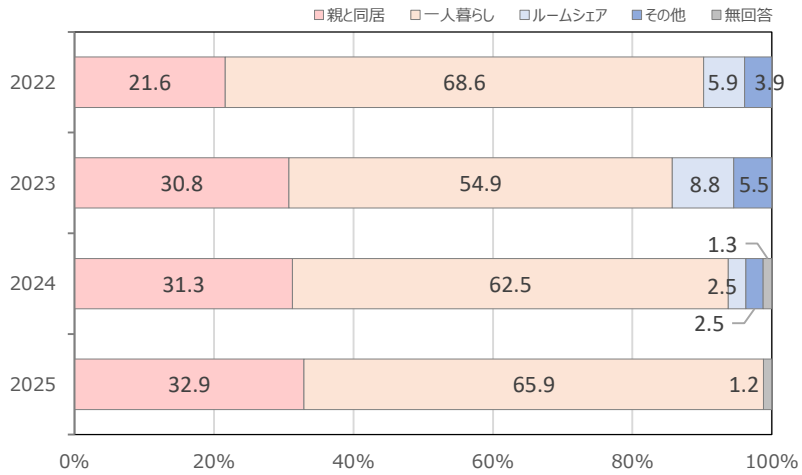
性別



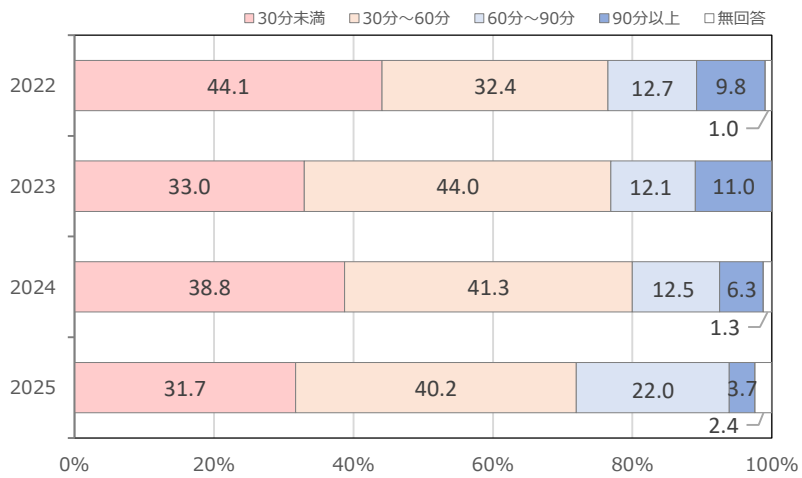
留学生ではない/留学生



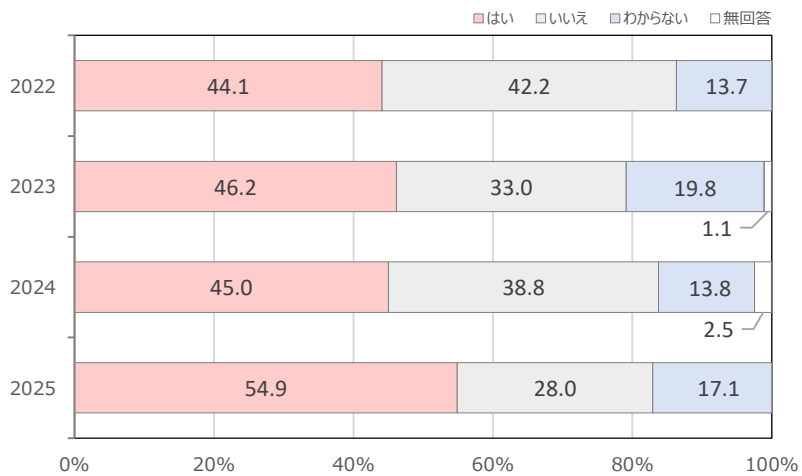
4年間の平均的な住居



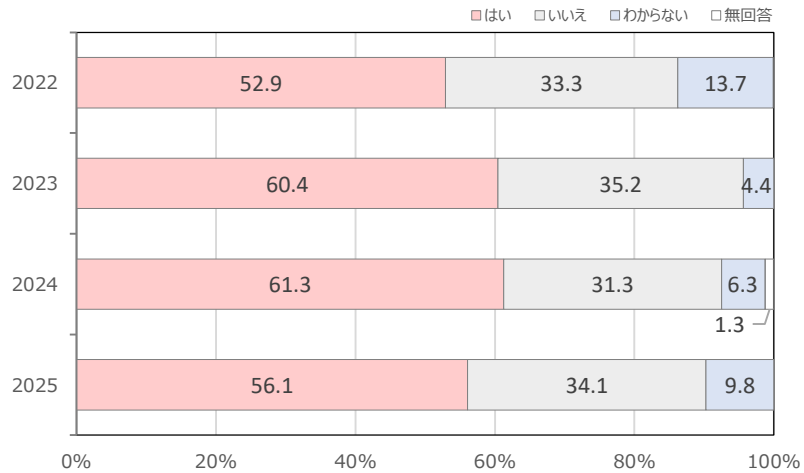
4年間の平均的な通学時間



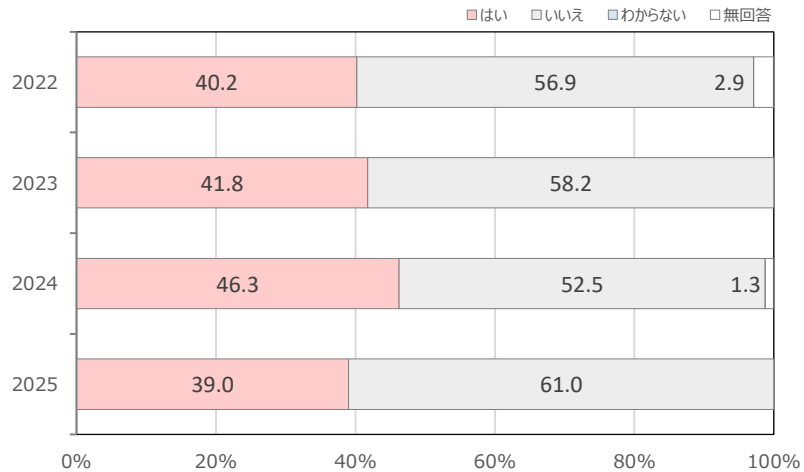
入学時に将来の仕事についてのイメージが明確だった



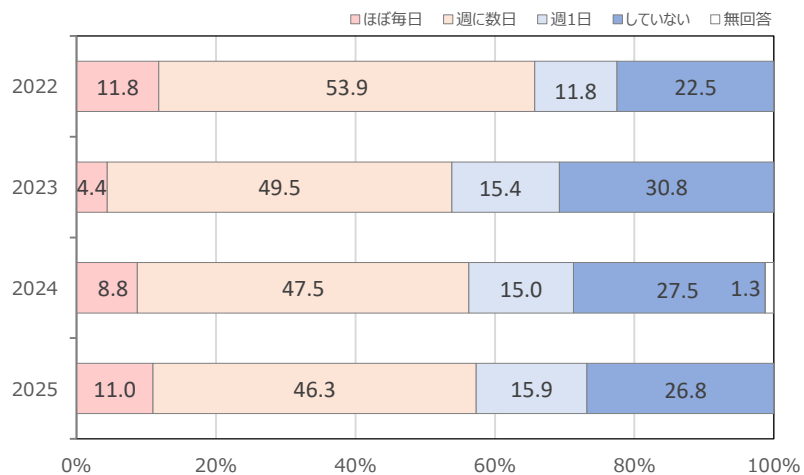
本学が第一志望だった



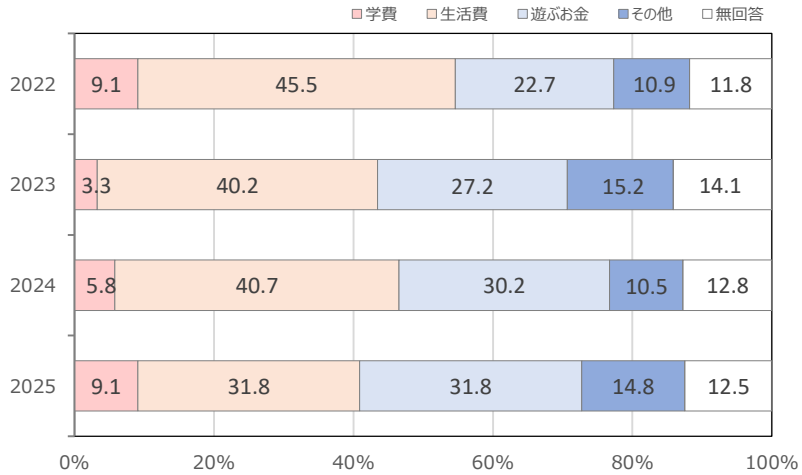
オープンキャンパスなどの行事に積極的に参加した



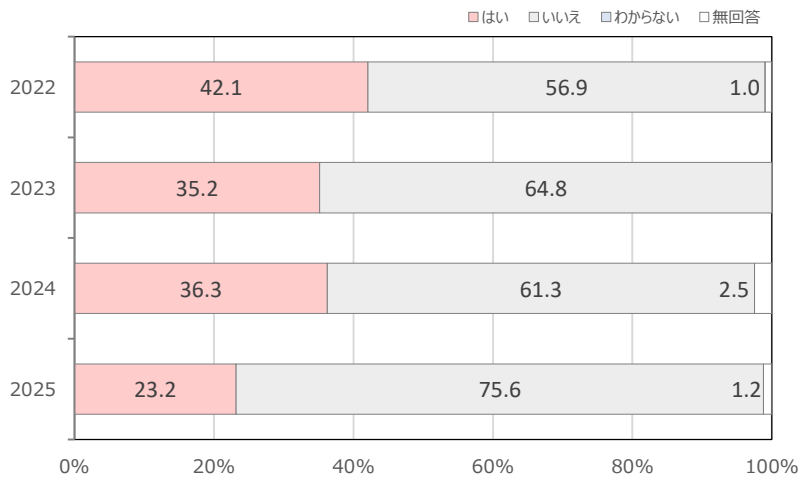
4年間の平均的なアルバイトの頻度



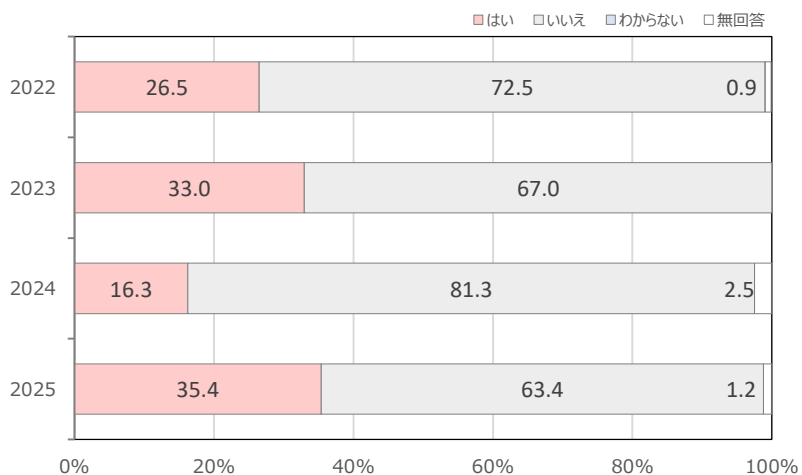
アルバイトの目的



生活費や学費で経済的不安がありましたか

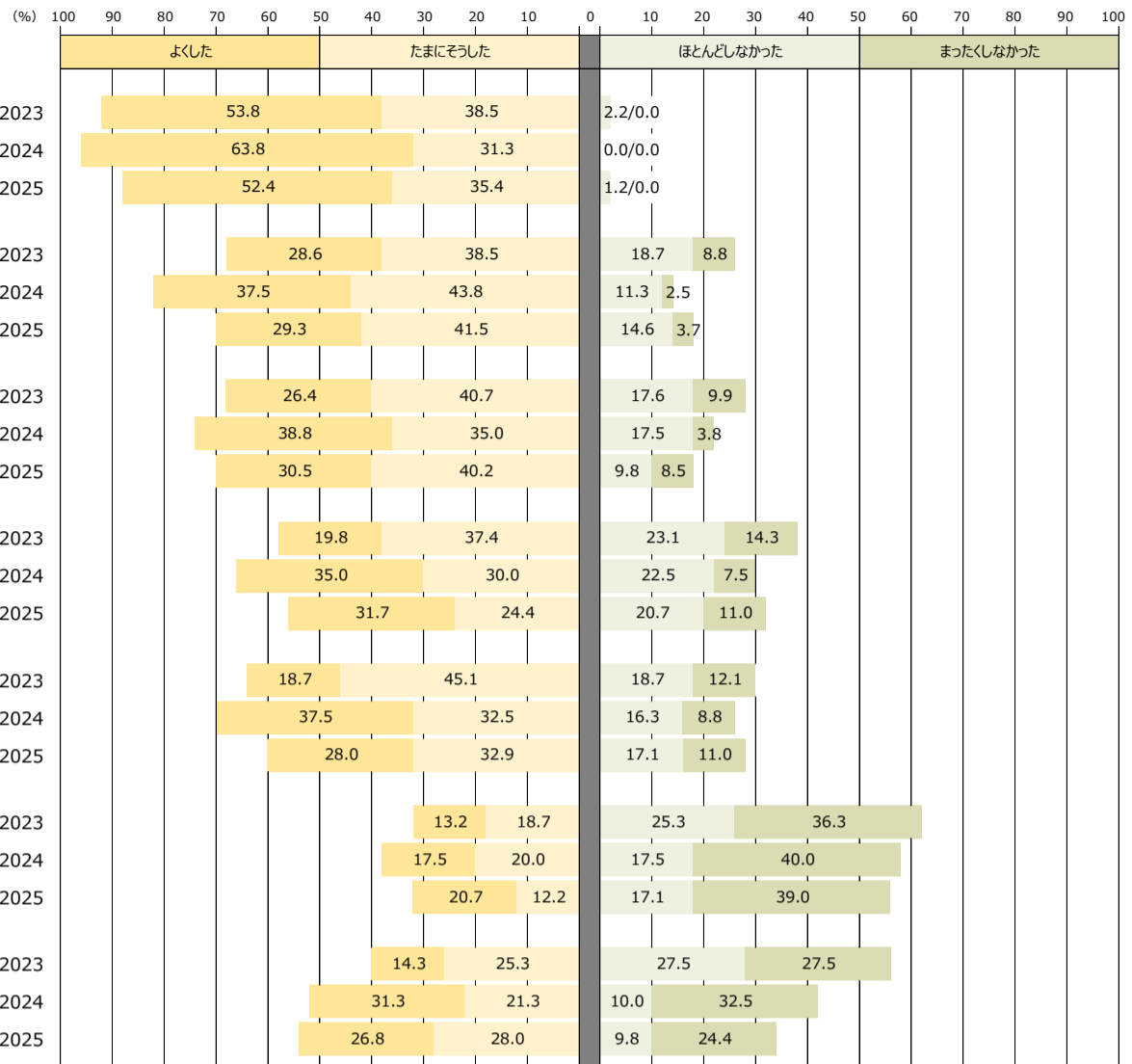


奨学金は受給していましたか

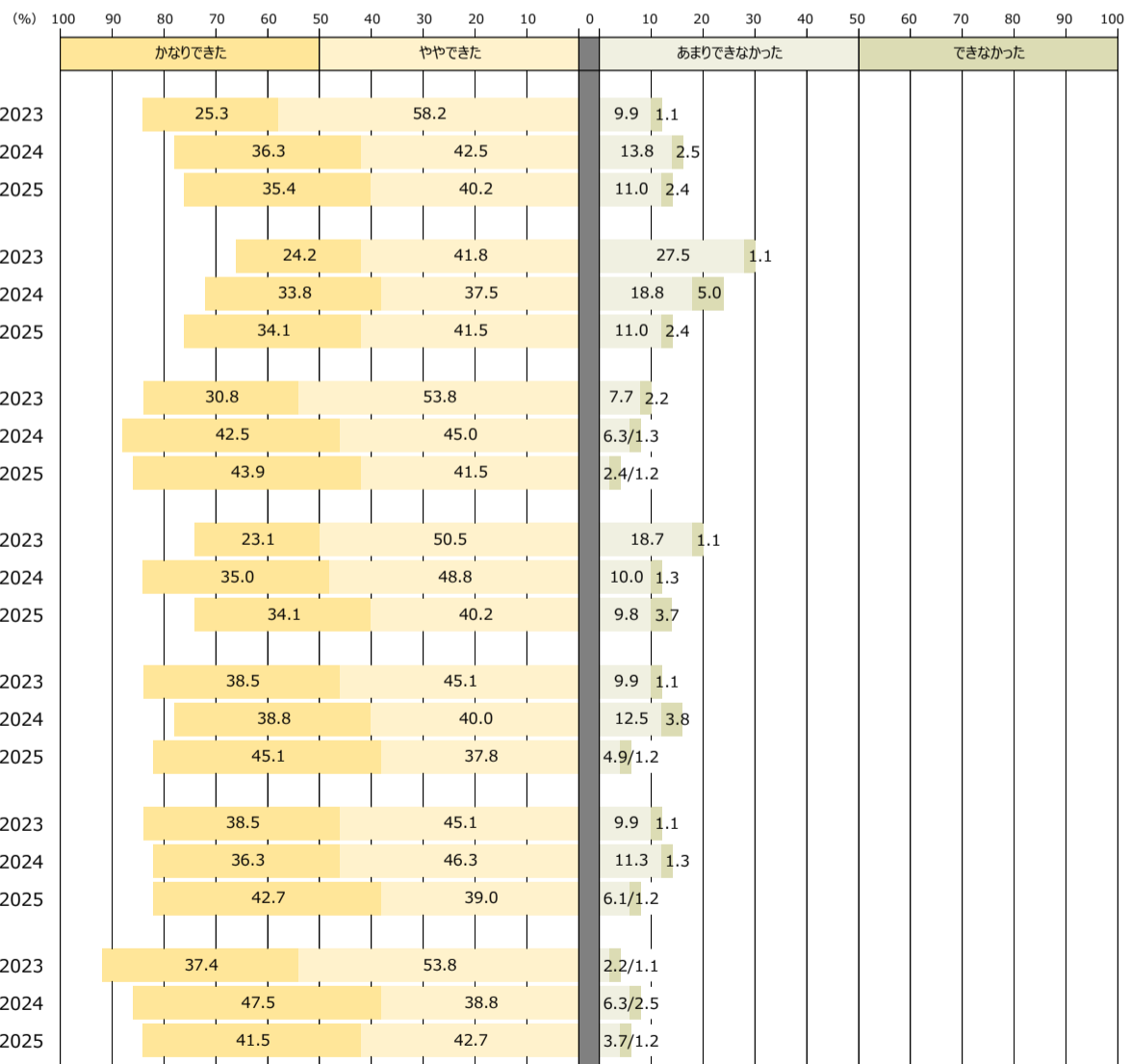


※ 無回答は除いているため、数値を合計しても100にはならない。

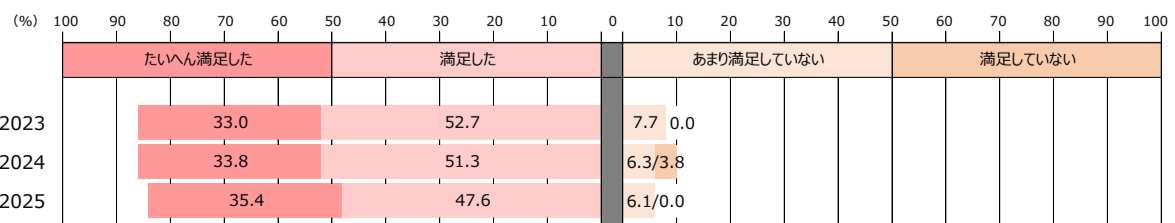
悩み事の解決



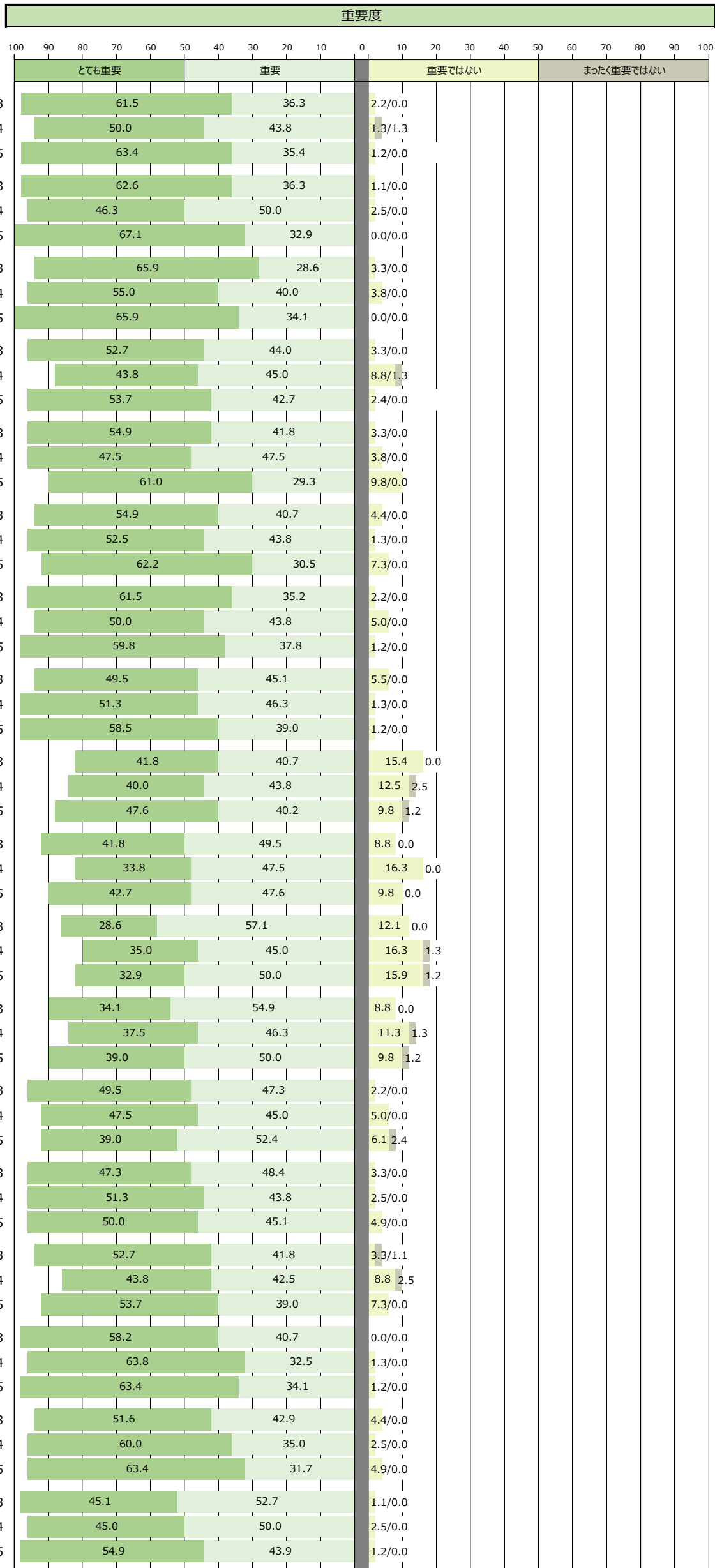
達成度



総合満足度



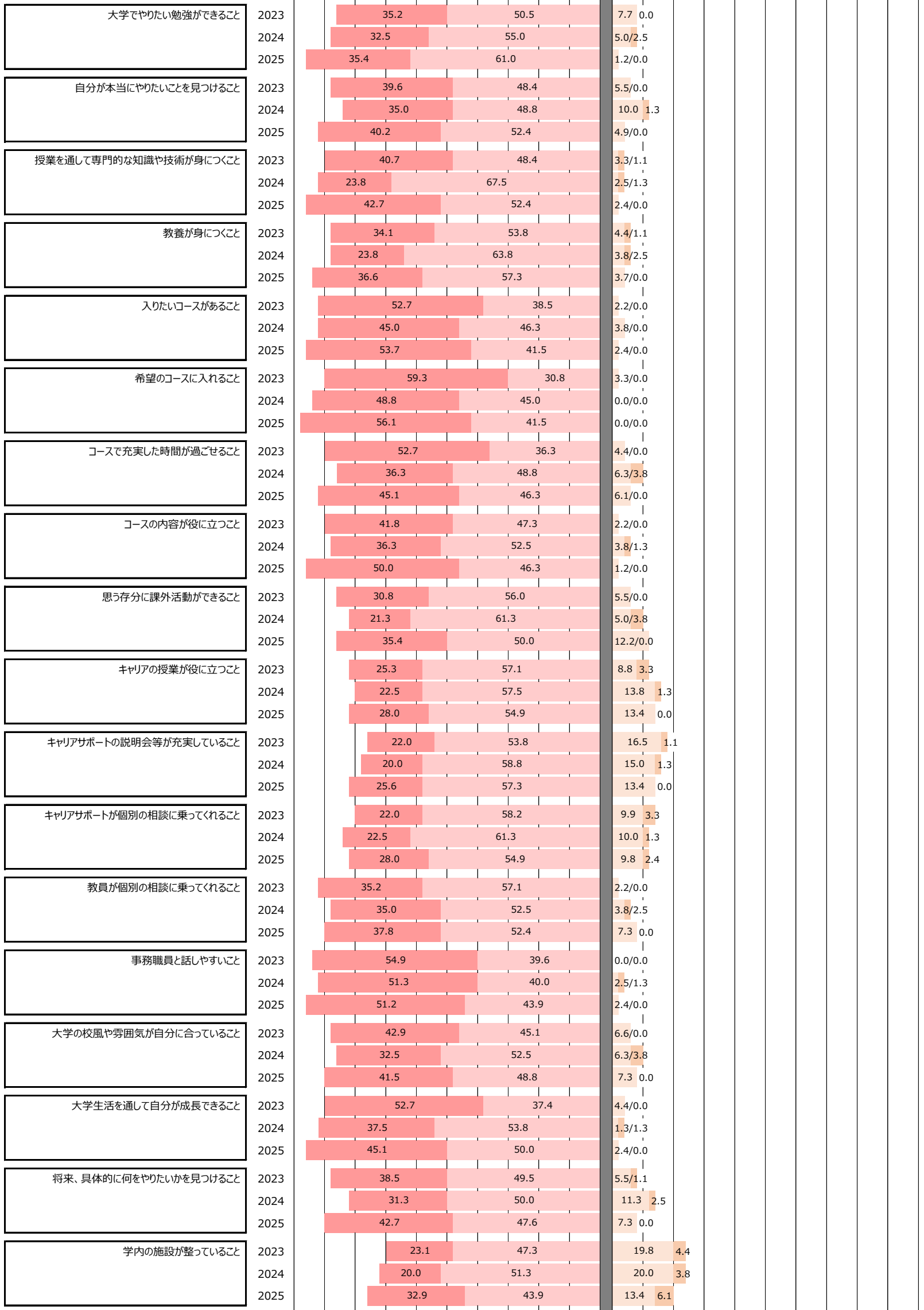
※ 無回答は除いているため、数値を合計しても100にはならない。



満足度

(%) 100 90 80 70 60 50 40 30 20 10 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

とても満足 満足 不満 とても不満



- 卒業までに大切だと思うのは、自分が本当にこの業界を好きかどうか、そして心から興味を持っているかを見極めることです。また、インターンシップを通して、自分の目標や将来の方向性を見つけられたかどうかも重要だと考えています〔演出〕
- 映像制作についての専門的な知識や技術を身につけること。故郷と離れた地で信頼できる友人を見つけること〔演出〕
- 私は、人とのコミュニケーションが最も重要だと思います。時には意見をぶつけ合い、時には柔軟に相手の意見を尊重して、物事を建設的に進めていくためにもコミュニケーションが大事だと感じた4年間でした〔演出〕
- 日本だけではなくハリウッド、他のアジアの地域の映画にも目を向けて学ぶ事が出来た。また、演出の方法、作法、技術についてもしっかり学ぶことができてよかった〔演出〕
- 人とのコミュニケーションが大事だと思う。勇気を持って日本の方と話す〔演出〕
- 自分のやりたい仕事に向けて、探求させてもらえるかどうか。仕事だけでなく、興味のあることを抑止せず、背中を押してくれる教員や相手がいるかどうか〔演出〕
- 現場で必要な知識を身に付けることができたことが一番ありがたかった。入学時から進みたい方向は決まっていたが、そこへ進む準備をこの大学生活の中で学生という立場で身に付けることができたことが良かった〔演出〕
- 休憩と気持ち。休憩は重要だし気持ちも。そして勉強は3番だ〔演出〕
- 自分の夢に近づくこと〔演出〕
- 自由な創作〔演出〕
- 感覚を体系化すること〔演出〕
- 授業の内容や教えを鵜呑みにせず、自分なりの解釈をするために反芻すること〔演出〕
- 将来何をしたいかを考えること〔演出〕
- 映像業界について知ること。芝居を学ぶこと。楽じゃない環境で学ぶこと〔身体表現・俳優〕
- 何事にもとりあえず興味をもつこと。周りを観察すること。分からないをそのままにせず調べたりすることが実習に役立つことを実感した〔身体表現・俳優〕
- 家から近いこと。専門知識を得られること〔身体表現・俳優〕
- いい友達できた。作品できた〔ドキュメンタリー〕
- フリーランスでも仕事をくれる人とつながる事が重要で、それは達成できたのでよかった〔撮影照明〕
- 撮影の知識を学ぶこと〔撮影照明〕
- 人と交流することは大切だと思います〔撮影照明〕
- 友達ができ、学びたいことが学べてよかった〔撮影照明〕
- 「自分の人生は何だ」と「私は誰だ」のことがちゃんと考えました。私にとって、大学の4年間は今まで一番重要な時期だと思います〔撮影照明〕
- 楽しいかどうか。意味のある選択か。結果がどうであれ受け入れられるか。自分が好きな人たちと過ごせるか〔撮影照明〕
- 私が重要だと思うことは人間関係だと思います。特にこの大学はチームワークが中心なので、良いものを作るにはとても大切だと思います。一般企業に行っても役立つことだと思うので、大切にして良かったと思います〔撮影照明〕
- 技術、経験と友情〔撮影照明〕
- 実習後の満足感〔撮影照明〕
- 自分の目標と実現したいことが重要だ〔撮影照明〕
- happy〔撮影照明〕
- 理想の進路を見つけること〔撮影照明〕
- 信頼できる人間を見つけ、自分自身が成長できること。やりたいことを見つけること。少し実現できた〔録音〕
- 人脈〔録音〕
- 専門分野を重点的に学べた。学んだ内容はこれから働く上ですごく重要なことだと思う。これからも得た知識や技術を活かせるよう、学びつづけたい〔録音〕
- 録音コースに入ったこと。とても満足〔録音〕
- 自身が経験してこなかったこと、経験したいことをできたと思う。自身のやる気度に対して同じ熱量で返してくれたことが自分のさらなるやる気につながった〔録音〕
- パソコンを使っの編集に関するソフトウェアを使いこなし、将来応用すること〔編集〕
- 先生達や編集の皆様知り合えたこと〔編集〕

- 映画を撮ることの難しさ、大変さ、キツさ、まだほんの少ししか学べていないのだと思うが、それでも重要だと感じたのは悩んで失敗して、その度に対話することである。失敗しかなないとひどく落ち込み、一人になりたくなることがしょっちゅうだった。でも映画は一人になっても結局答えは出ない。対話するしかないのだと最後に気付いた〔編集〕
- こういう大学だから技術を身に付ける事が一番大切であると考え。大永さんをはじめ、様々な講師の方、プロの方と関わる機会を得たこと、関係値を築けたことは最重要であり、ここでしか得られない事だと思う。「技術を身につける」という面では達成されたと思う〔編集〕
- この大学でしか学ぶことができない映画の専門的な知識や技術をプロの近くで学ぶことができ、とても良い経験になりました〔編集〕
- 就活のときにこの学校でやってきた実習がムダではなかったんだと気づいた。ものづくりの楽しさに気づけるかどうかだと思う〔編集〕
- 同じ志の仲間ができること。教員を含む人たちとコミュニケーションがとれること。学校の雰囲気は自分にあっていること。やりたいこと、やってみたいことが学べること〔編集〕
- コミュニケーション能力が重要だと思った。話し合いが多い大学だったのでそう感じた〔編集〕
- 色々なことに挑戦する。将来の目標ができた〔編集〕
- 大学に入る上で将来やりたい事や就職先を見つける事が重要でした。そして本学に入学し、4年間映像をつくるということを座学や実習で学び、自分の強みとすることで無事制作会社につとめることができました〔脚本〕
- 最も重要視していたことは、自分を押し殺さないことである。だが、結局のところ自分の押し黙りで迷惑をかける場面もあった。今後は自分とも、他人ともよく相談して、見つめ直していきたい。その力を、この大学生活の中で、表現出来るようになった〔脚本〕
- 自ら動くこと。主張を押し通すこと。コミュニケーション。感謝〔脚本〕
- 脚本を書く技術の向上〔脚本〕
- 身に付ける知識やスキルです。そして、人間関係も重要でした〔文芸〕
- 自分だけではなれなかった職業につこうと思えたこと〔文芸〕

大学生活で重要だったこと（自由記述）

- インターンシップを通して、現場の流れや役割について理解を深めることはできましたが、自分の将来の目標についてはまだ明確に定まっていない部分もあります。今後はさらに経験を積みながら、自分のやりたいことをより具体的にしていきたいと考えています〔演出〕
- 映像制作について、この大学だからこそ学べることを学べたと思っている。また制作部という自分が進みたい道を見つけることができたため、良かった。信頼できる友人は見つけました!!!一生付き合っていきたい友!!!〔演出〕
- 自主制作映画を多くの仲間と作れたことです。自分の企画した作品にたくさんのスタッフ・仲間が集い、作品に真摯に向き合って作ってくれたことに感動しました〔演出〕
- 3年生で一人暮らしになったとたん独りよがりになりがちで、もう少し他の人に相談したり一人で抱え込む事がないようにこれからしていきたいと思った〔演出〕
- できたこと：演出の知識、人とのコミュニケーションスキル〔演出〕
- 自分の就きたいお仕事につけたこと。コミュニティを形成出来たこと〔演出〕
- プロデューサーや制作部で裏方の仕事を学ぶことには満足できた〔演出〕
- 映画についていろいろな仕事がちよっとわかって、組でちよっと働ける〔演出〕
- 3DCGなど学外の活動で自主的に学ぶことができた〔演出〕
- 卒業できた〔演出〕
- 映画をたくさん観れて良かった〔演出〕
- メ切りまでに脚本を書く上で主要テーマを1つに絞るために別のテーマを切り落とす発想にとらわれず、改変・統合するアイデアを出すこと〔演出〕
- 満足したことは、実習〔演出〕
- 映画をあまり知らなかったが、映画をみて知識を得たり、みる視点が大きく変わった。それによって自分が表現したいこと、表現の引き出しにつながった〔身体表現・俳優〕
- 映像業界について知ることができた。芝居を学べた。少し厳しい環境で学べた〔身体表現・俳優〕
- 駅から遠い白山校舎の座学が距離的な意味で大変だった。内容には満足〔身体表現・俳優〕

- 卒業公演で実際に劇場を借りて、様々な人たちに自分の芝居を観てもらった時に、「今日は相手がどんな芝居をしてきて、自分はどんなリアクションを取れるか」を考えながら芝居をした時に、観客にそれがリアルに感じてくれた人とそうではなかった人と色々あり、相手を良く観察して本当の気持ち（その人になる）で芝居ができた時はすごく周りの反応が良かったと感じた。人によって着眼点が違くておもしろかった〔身体表現・俳優〕
- 「糸はまだ切れず」〔ドキュメンタリー〕
- インターンの現場で色んな人とつながれた〔撮影照明〕
- 先生のおかげで学べるのがたくさんあった〔撮影照明〕
- 日本の会社に入って就職できました〔撮影照明〕
- いろいろと経験できてよかった〔撮影照明〕
- 特になし〔撮影照明〕
- おおむねできたと思う。また、今は気に入っていない部分も、ゆくゆくは受け入れる事ができると思う〔撮影照明〕
- 映画制作を学び、物事の見方を多方面から見られるようになりました。その結果、より多くのことを楽しめるようになりました〔撮影照明〕
- 技術や知識を学んで、友達ができて、成長しました、できなかったことは日本の映画会社に就職できなかったことです〔撮影照明〕
- コース内の勉強が満足できた〔撮影照明〕
- やるべき事の明確化〔撮影照明〕
- 実習などで忙しく充実した日々を過ごせた。自主制作ができなかった〔録音〕
- 何も出来なかった〔録音〕
- 録音コース以外の内容をもっと学びたかった。現場で活かせるくらいは〔録音〕
- 録音コースに入ったこと。とても満足〔録音〕
- とにかく自分の作品を作りたい。入学時からそのことばかりに固執してしまうのがよくないこと。2年生のときに一度諦めたが、今になってそのことを後悔している。一度でもいいから自分の作品と呼べるシナリオを作って、何かしら形に出来たらよかった。それが数ある後悔の中の最も強いものである〔編集〕
- 基礎を固めることは実現できた。取り組んだ作品に対しては、後からもっとこうすればよかったと思うばかりであった〔編集〕
- 満足していると思う。正直細々としかできなかった事はたくさんあるし、逆に不満な事も覚えがない。楽しかったに尽きる〔編集〕
- 編集ができたこと〔編集〕
- グループ活動の実習は仲間と協力しながら取り組むことができた〔編集〕
- キャリアサポートの授業、おそくて困ったから後輩たちにははやめにやってあげてほしい〔編集〕
- 自分の本当にやりたいことをみつけた。大学で学ぶ内容と同じではないが、満足している〔編集〕
- 人に頼られることが多かったので、うれしかった。頼られた時にうまくいくと満足できた。人との連絡がうまくできなかった〔編集〕
- 色々なことをやり、将来の目標ができた〔編集〕
- 学食を食べたかった〔脚本〕
- 映画を一本撮れたこと、都電に乗れたことである。あてのない旅への定義を、作品として形に出来たことである。それが多くの人に伝わらなかったことは、実力不足として正していきたいところである〔脚本〕
- 教員が優しくかった。脚本の書き方。人間関係。業界の歩み方。満足です。楽しかったです〔脚本〕
- 人として変わった。多くの自分の課題と向き合えた〔脚本〕
- 希望コースに入って勉強したいことができました！〔文芸〕
- 文芸の先生方に大変お世話になった〔文芸〕